

総合防災訓練について

株式会社ユアテック 総務部総務グループリーダー 川田 崇

株式会社ユアテックは「お客さまの心ゆたかな価値の創造に協力し、社会の発展に貢献します。」の企業理念のもと、主に配電・送電・発電などの電力設備をはじめ、オフィスビルや工場などの電気・空調管設備、情報通信設備の建設・維持のほか、土木建築工事や再生可能エネルギー工事も担っております。地域は東北・新潟を中心に関東圏にも展開しており、さらに北海道・大阪、そして近年はベトナム国をはじめとした海外事業にも注力しております。

関東大震災からちょうど100年目の節目にあたる昨年9月1日、経営層を含め全社大で総合防災訓練に取り組みました。当社は自然災害などで電力設備や一般のお客さま設備への被害が想定または発生した場合、非常災害対策規程に基づき所要の体制を発令し、東北電力(株)様・東北電力ネットワーク(株)様や一般のお客さまからの要請を受け、復旧に向け全力で取り組みます。その初動対応訓練を実施いたしました。

今回の想定は東日本全域で線状降水帯が発生し大雨が降り続き、電力設備に被害が発生したほか、2つの事業所が冠水する想定で行いました。

訓練内容は大きく3点です。

①安否・現地状況の報告訓練：当社社員はスマートフォンなどに安否確認サービスのアプリをインストールしています。自動発出された想定災害情報をもとに、本人や家族の状

況を報告。さらに各事業所長などは事業所へ出社したとみなし、社屋の被害状況と事業継続可否について報告。これら入力情報を本社対策本部にて自動集計し、後に行う非常災害対策本部会議向けの当社復旧体制構築状況資料を作成するものです。

②対策本部の設置訓練：災害時、本社と各支社がオンラインで会議を開くことが可能という前提で、会議準備や必要な備品などの確認を行いました。あわせて、主要事業所に配備する衛星携帯電話の使い方の確認も行いました。

③対策本部の運営訓練：非常災害対策規程で定める各班に対し予め想定被害の前提を示し、全体シナリオに基づき被災事業所からの報告を受け、本社対策本部から復旧活動に関する指示を行い、相互に確認を行いました。

訓練実施後は反省会を行い、経営層からの講評のほか参加した各班からアンケートを行いました。訓練の成果があったという意見のほか、改めて浮き彫りになった課題もあったことから、今後定期的に行う訓練に生かしていきたいと考えております。

当社は2024年度に創立80周年を迎えます。事業の基盤は、地域やお客さまの事業活動、社会生活に必要な社会インフラを建設し保守を担う企業であること。これら社会的使命を常に意識し、地域やお客さまとの強固な信頼関係を築きながら、これまでも、そして、これからも社会の発展に貢献していきたいと考えております。

